

## ウッドショックがもたらす影響と今後の対策について

ウッドショックとは：

需要と供給のバランスがくずれ、木材が市場に足りなくなるにより価格高騰や入手困難な状態です。

原因は色々考えられますが、弊社の場合、木材の産出国として代表的なカナダでは虫害問題や Covid19 蔓延による労働者不足などが原因で山から運び出される丸太自体が激減しています。

また、Covid19 蔓延の影響でリモートワークをするようになり、中国やアメリカでは莫大な財政出動と歴史的な住宅ローンの低金利政策が取られた結果、両国での新築着工数が増えたことも日本に木材が入ってこなくなっている要因のひとつです。

さらに Covid19 が猛威をふるう中、世の中では感染のリスクを避けネットショッピングなどが主流となったため、世界的に流通が圧迫されコンテナ不足が起きており日本への物流（輸出入）が減少していることも輪をかけています。

弊社で使用している木材（材料全般）もその影響を受けており、今後も続く Covid19 からのリカバリー長期化（with コロナ）や海外の住宅ラッシュが原因で先行きが見えないのが現状です。

弊社の商品で影響を受けているもの：

A 木枠 - 米杉材は住宅（エクステリア）に良く使われている材料のため品薄・価格高騰が起きている。

HD パネル - ジェルトン（枠材）・ベニヤ（面材）共にインドネシアからの輸入に頼っている為、インドネシア国内のロックダウンやコンテナ不足などの影響で入荷遅延が起きている。  
ベニヤ（面材）については現在国内にある在庫を探しながら購入している状態で従来よりも下等なグレードのものも混入している。

ライト木枠 - 当面の在庫が確保されておりますが、ファルカタ材もインドネシアからの輸入に頼っている為今後どのような状況になるか不安定な情勢には変わりありません。

今年年内分の材料は発注・確保されておりますが、価格や到着予定はまだハッキリしておりません。その為品切れや長めの納期連絡をさせていただく場合がございます。

企業努力で何とか価格を据え置いて続けておりますが、今後材料の変更や、価格改定をお願いすることもあるかもしれませんのでご留意ください。